

# TOTO

## 角形アンダーカウンター洗面器

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けください。  
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。

※以下の説明は TOTOカウンター以外にセットされる場合 のものです。TOTOカウンターにセットされる場合は、TOTOカウンター専用固定金具に同梱している説明書を参照ください。

### 安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前にこの「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	<b>注意</b> この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「禁止」を示します。		は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。
--	----------------------------------	--	---------------------------------------

注意	
	<b>洗面器にかたい物を落とさない</b> 洗面器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	<b>洗面器に強い力や衝撃を与えない</b> 洗面器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	<b>陶器部にヒビが入ったり、割れた場合、破損部は絶対にさわらない</b> 破損部でけがをするおそれがあります。早めに交換してください。
	<b>陶器に熱湯を流さない</b> 熱湯を使用しますと、洗面器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

注意	
	<b>凍結のおそれがある場合は、器具周囲の温度が氷点下にならないようにする</b> 洗面器が凍結すると破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	<b>必ず実行</b> 設置工事に使用する部品は必ず付属部品および当社指定部品を使用する 他社品を使用すると正常な取り付けができなくなる可能性があります。

### カウンターについて

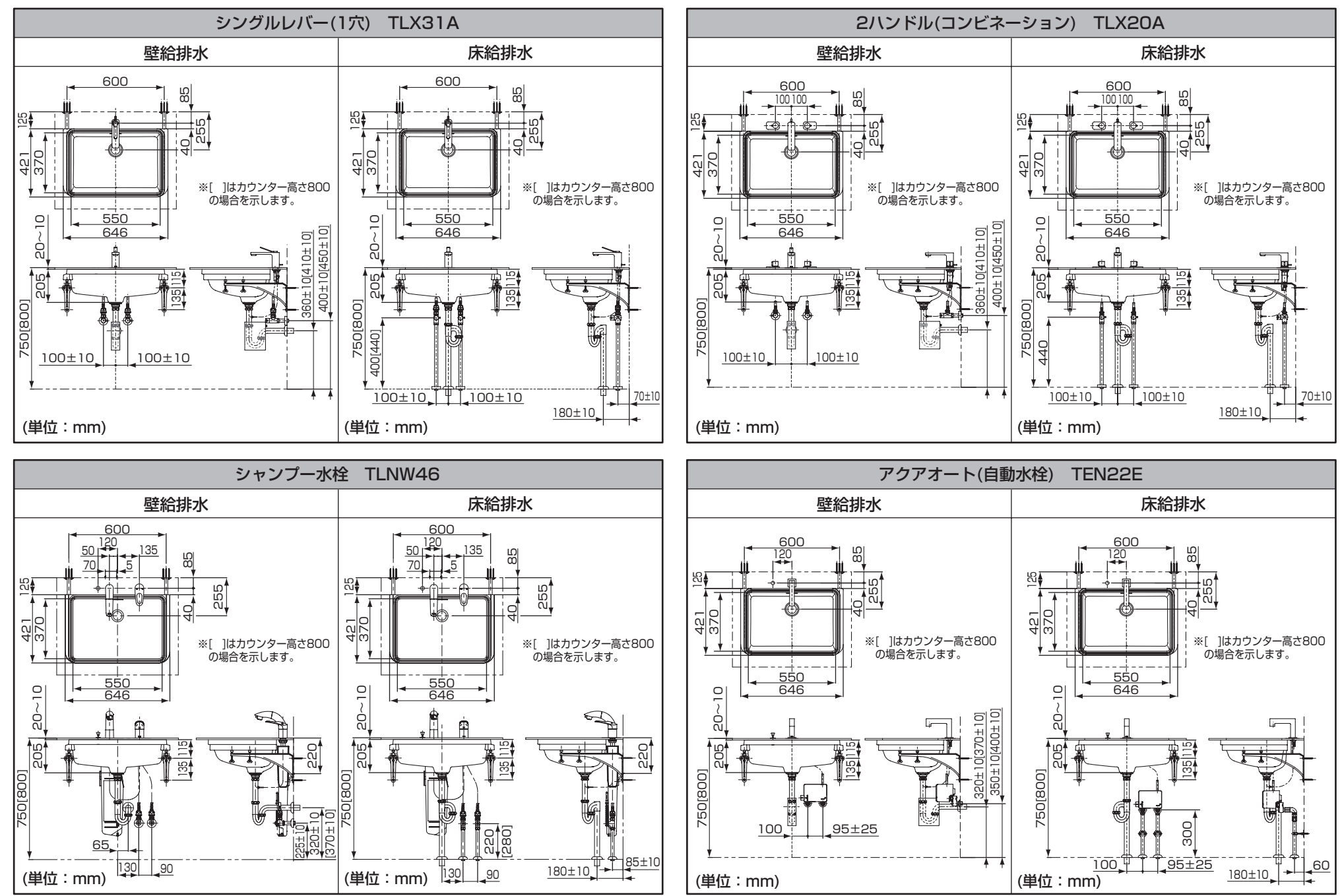
- 当社対応カウンターは、当社カタログをご参照ください。
- 当社製以外のカウンターにセットされる場合は、カウンター厚みを10~20mmの範囲としてください。
- カウンターの切り欠き形状については、設計施工資料集をご参照ください。(13.02以降)また、別紙型紙(型紙No.4053)を準備しておりますので当社の支社、支店、営業所にお問い合わせください。

### 部材の確認

洗面器	施工説明書	取扱説明書

※別途手配品：  
ブラケット、水栓金具他

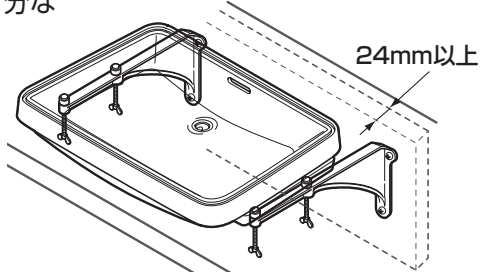
### 完成図



# 施工手順

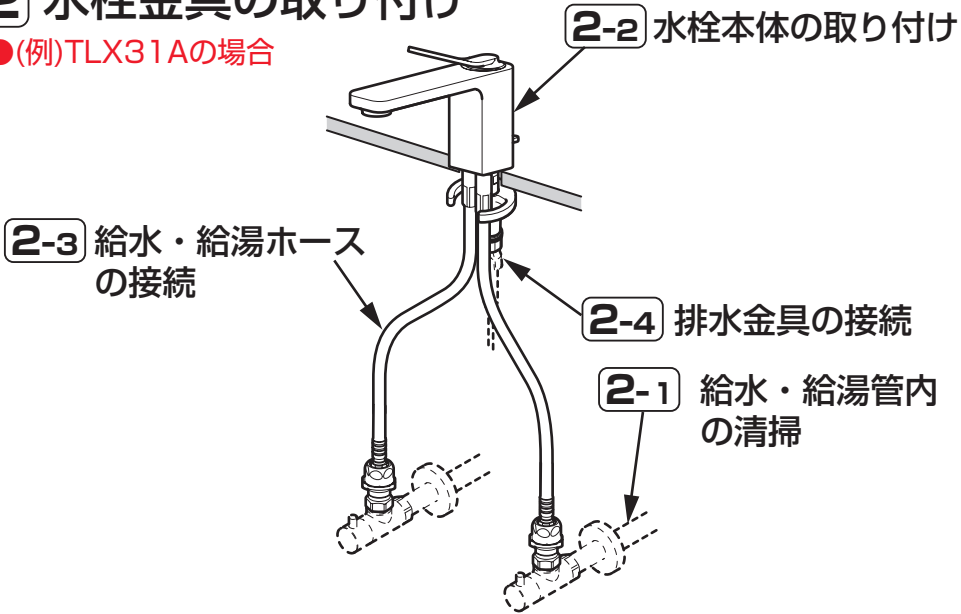
## 1 取り付け前の準備

- 施工前に、給水管および排水管取り出し位置が所定の位置にあることを確認する。
- 排水管を壁面または床面と同一面で切断する。  
排水管切断面のバリ・汚れは必ず除去する。  
(排水管はVU40、VU50またはVP40、VP50をご使用ください)
- 器具を取り付ける際に、必ず給水管内のごみ・砂を完全に洗い出す。
- ブラケットの壁固定部分に壁面補強板が入っていることを確認する。  
(注)補強板については構造用合板で厚み24mm以上のこと。  
ただし、カウンター壁固定部分に十分な強度が確保できていることと、洗面器上面の溝に十分なメジシールを塗布することが前提となります。



## 2 水栓金具の取り付け

●(例)TLX31Aの場合



## 2-1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に**必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

**重要**

## 2-2 水栓本体の取り付け

- ①取付穴周囲の汚れを取る。
- ②取付穴を測り、穴径にあわせてパッキンを2種類から選択する。

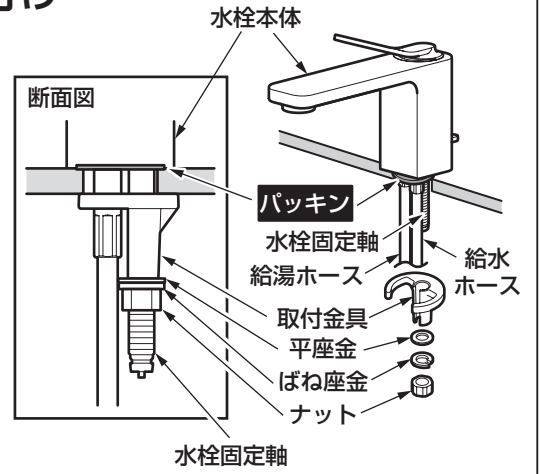
### 注意

パッキンは2種類同梱されています。取付穴の径にあわせてパッキンを選んでください。

取付穴φ36以上	取付穴φ36未満
つば付きパッキン	平パッキン

※パッキンを間違えるとカウンター下に水が漏れるおそれがあります。

- ③給水・給湯ホースにパッキンを通し、水栓本体底部の溝に入れ、取付穴に差し込む。
- ④水栓固定軸に取付金具、平座金、ばね座金、ナットの順に通し、水栓本体が正面を向くように固定する。



### 注意

- 水栓全体が取付穴の中心にくるように固定してください。
- 固定には締付専用工具(別売: TZ40L)を利用して確実に締め付けてください。

## 2-3 給水・給湯ホースの接続

- ①ワンタッチソケットを止水栓に固定する。

### 注意

ワンタッチソケットに貼られたシールをはがさないで取り付けてください。そのままでもホースを差し込めます。

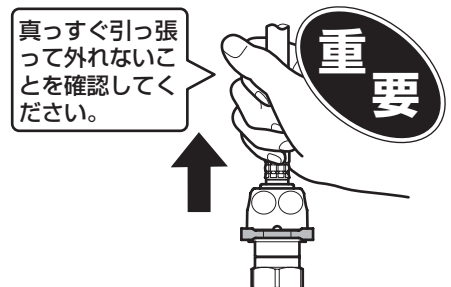
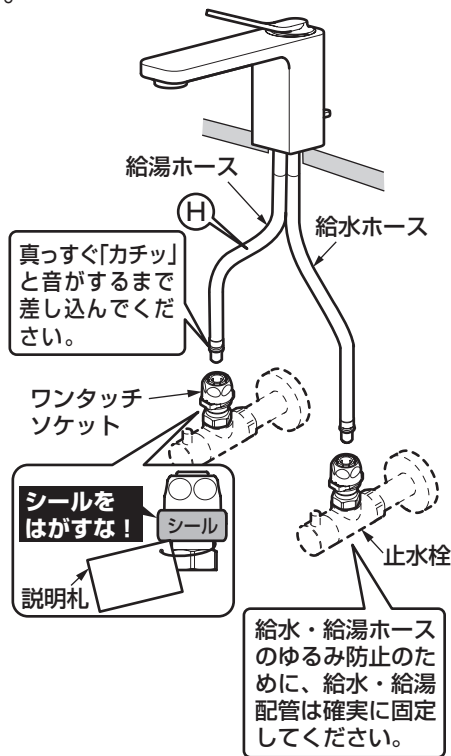
- ②給水・給湯ホースに異物の付着がないことを確認し、ワンタッチソケットに真っすぐ奥まで(「カチッ」と音がするまで)確実に差し込む。

確実に差し込まれていない場合、水漏れの原因となります。

この際、同梱の「ワンタッチソケット」の説明札を必ずワンタッチソケットまたは止水栓につり下げてください。

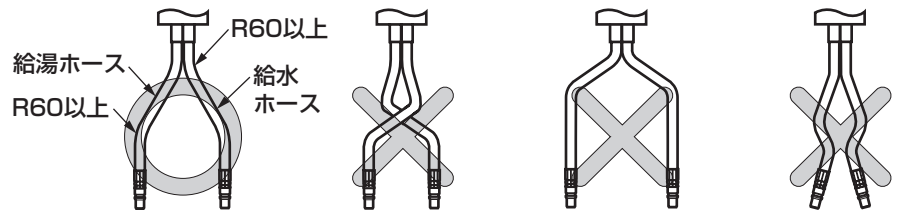
- ③ホースを真っすぐ引っ張って外れない(抜けない)ことを必ず確認する。

施工後、万一ホースを外した場合は、「ワンタッチソケット」の説明札を確認のうえ、必ずワンタッチソケットとホース内の残水を抜いてからホースを差し込んでください。



## 給水・給湯ホース施工上の注意点

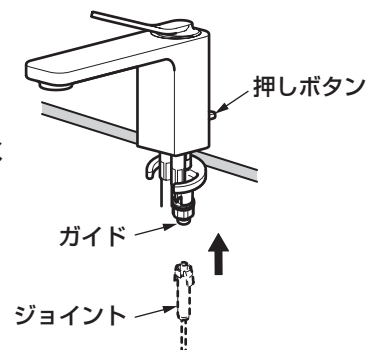
- ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。ホースの最小曲げ半径は60mmです。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、折れた部分で早期破損を生じる可能性があります。
- ホースを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
- ホースを無理に引っ張らないでください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



## 2-4 排水金具の接続

専用排水金具同梱の施工説明書に従い、排水金具を接続する。

※ジョイントの接続は、ワンタッチ式排水金具対応品のみです。





### 3 排水金具(排水口部)取り付け

#### 注意

**三角パッキンの方向に注意して取り付け**

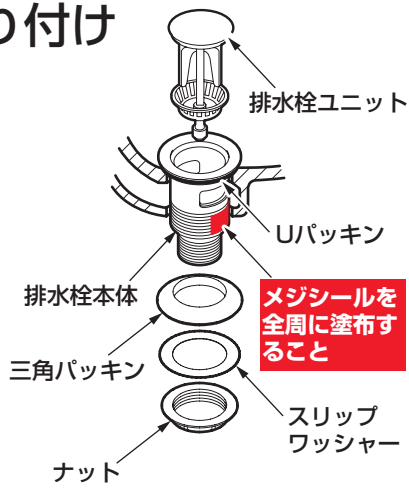
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

**ナットは三角パッキンの弾性を失わない程度に締め付ける**

強く締めすぎると、洗面器が破損してけがをするおそれがあります。



#### 注意

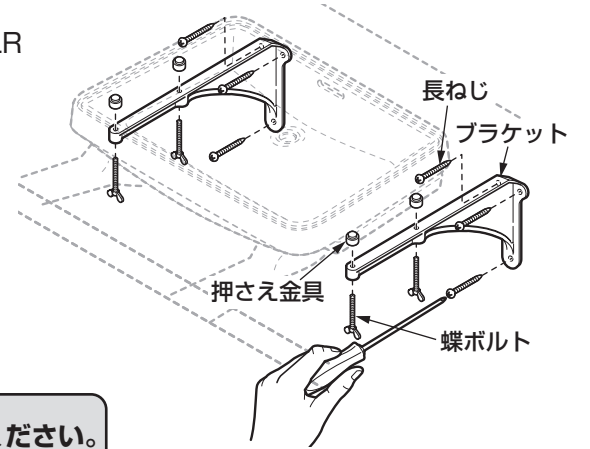
取付詳細については、排水金具に同梱の施工説明書を参照ください。

(注) その他の排水金具の取り付けについては、排水金具に同梱の施工説明書をご覧ください。

### 5 ブラケットの取り付け

洗面器をカウンター下から支えながら壁にブラケットを取り付ける。

※ブラケット品番：TL516GLR



#### 注意

作業は必ず二人以上で行ってください。

### 4 洗面器の仮固定

①洗面器上面の溝にメジシールを塗布する。

#### 注意

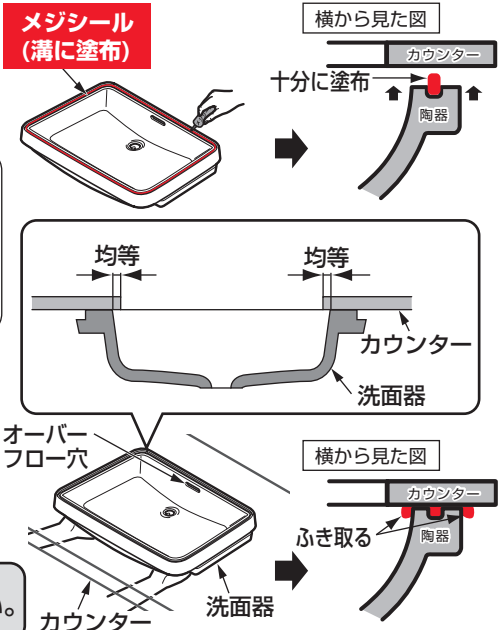
**メジシールを塗布する**

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

②カウンターかぶり代が均等になるよう、洗面器をカウンターへ押し当て支えておく。このとき洗面器オーバーフロー穴が壁側中央になるようにセットしてください。塗布したメジシールの溝からはみ出た分をきれいにふき取ってください。



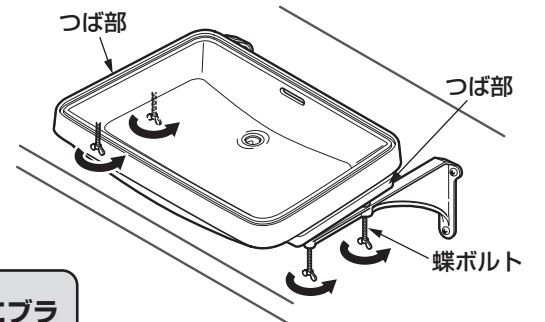
#### 注意

作業は必ず二人以上で行ってください。

※メジシールのほか、シリコン系シーリング材(防カビタイプ)も使用できます。

### 6 洗面器の本固定

ブラケットの蝶ボルトを締め付けて、洗面器をカウンターに固定する。



#### 注意

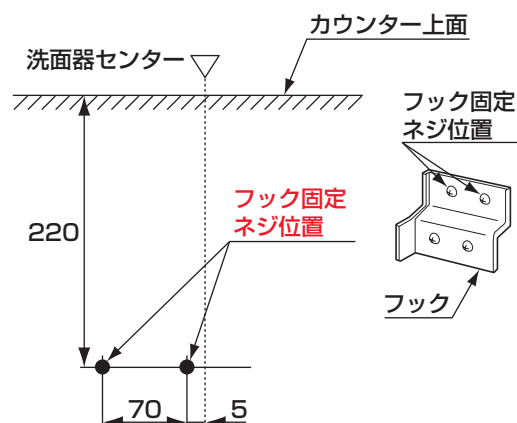
洗面器両サイドのつば部が確実にブラケットに載っていることを確認してください。

### 7 水受けトレイの取り付け (シャンプー水栓の場合)

※水受けトレイ品番：TL580BE1R

#### ① フック取付要領

##### ① 取付位置

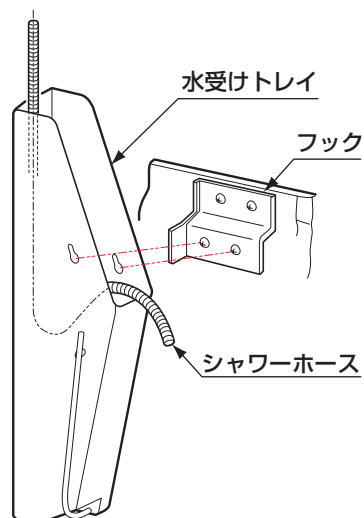


##### ② 取付要領

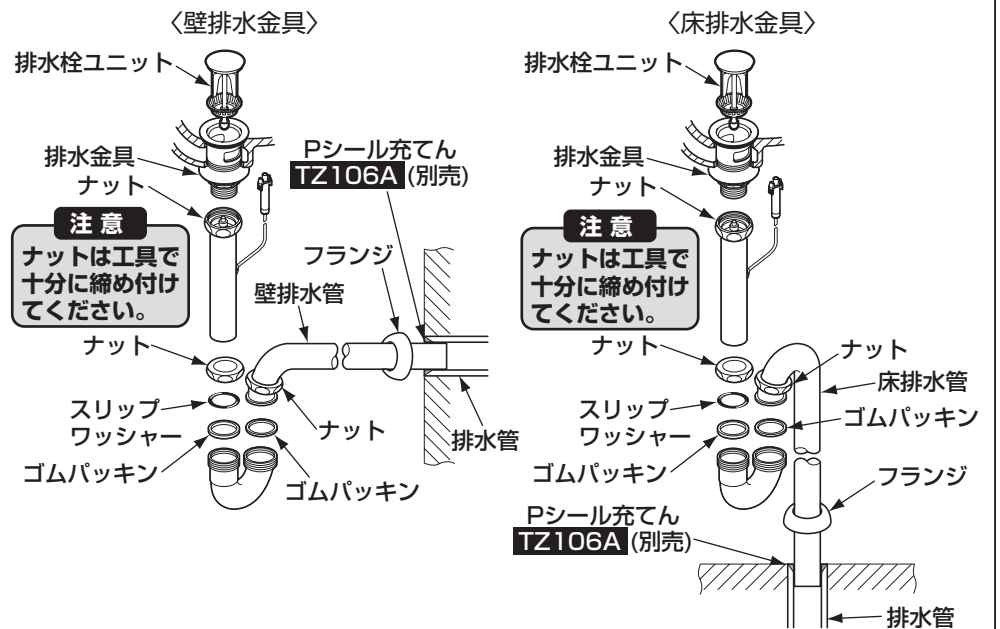
①の位置に同梱の木ねじで固定する。木ねじがつくよう桟などの位置を調整してください。

##### ② 水受けトレイの取付要領

シャワーホースを水受けトレイ内に入れフックにセットする。



### 8 排水金具の取り付け



#### 注意

排水金具は洗面器と排水管に仮固定して、排水金具が前後左右方向に傾いていないことを確認したあと、すべてのナットを締め込んで本固定してください。

#### 注意

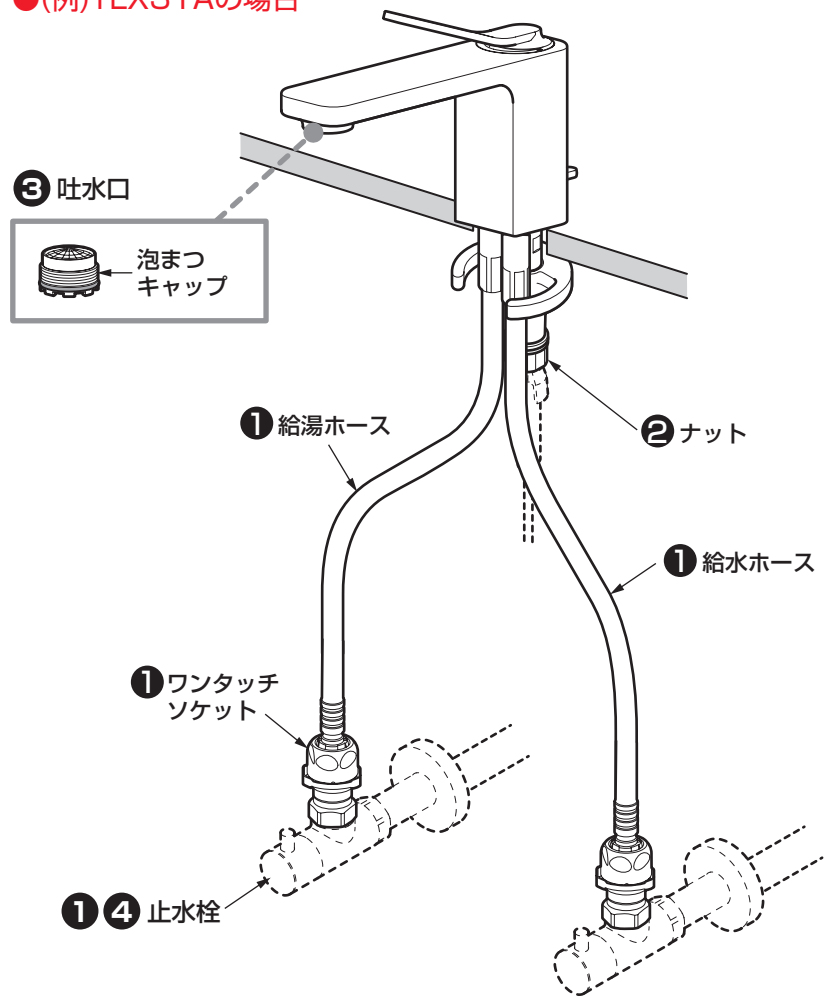
壁排水管および床排水管は、施工誤差による取付不良防止のため、長さを長めに設定しております。取り付け時は差し込み代を40mm以上確保し、パイプカッター・ノコなどで必要な長さに切断して使用してください。

# 取り付け完了後の確認

## 〈給水接続部〉

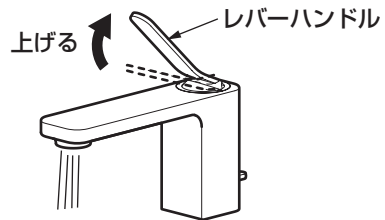
取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

●(例)TLX31Aの場合



### 水出し確認

配管部の元栓を開け、スパウトから水が出るか確認してください。



### 水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 給水・給湯ホースとワンタッチソケット、止水栓とワンタッチソケットはしっかり取り付けられていますか？

### ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

② ナットのゆるみはないですか？

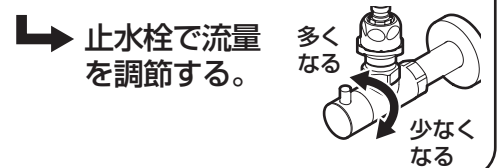
### 流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

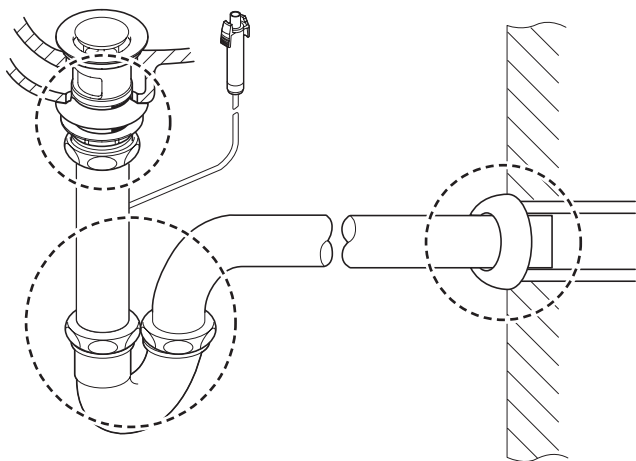
③ 吐水口のごみ詰まりはないですか？



④ 止水栓は開いていますか？



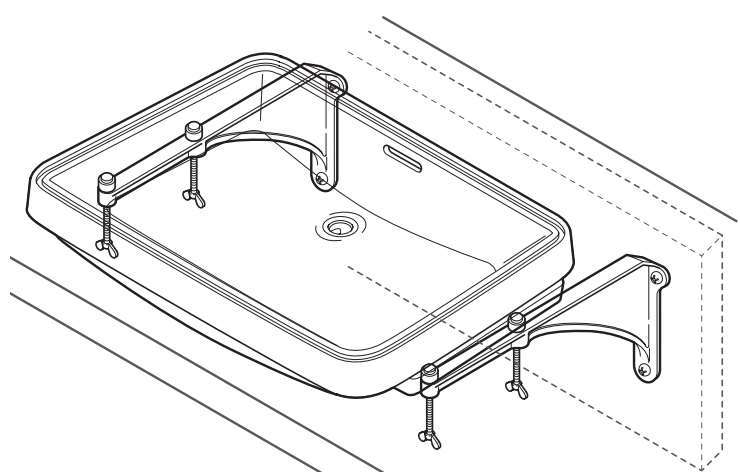
## 〈排水接続部〉



### 水漏れの確認

●通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。

## 〈カウンター／洗面器部〉



### ガタツキの確認

●カウンター／洗面器が確実に固定されていることを確認してください。